

令和7年度 学校における保護者等への対応の高度化事業（行政による学校問題解決のための支援体制の構築）

学校と保護者・地域との よりよい関係づくりに向けて — 行政による新たな支援体制づくり —

近年、社会環境が多様化・複雑化する中で、保護者や地域からの過剰な苦情や不当な要求など、学校だけでは解決が難しい事案が学校運営上の大きな課題として認識されています。

文部科学省では、学校現場の負担軽減に向けて

「保護者等からの過剰な苦情や不当な要求への対応に対し、教育行政が学校を支援する取組」を推進しています。

本イベントでは、基調講演を通して保護者等の皆様とのより良い関係づくりを考えるとともに、実際に学校・園と共に保護者等との信頼関係構築に取り組む自治体をゲストに迎えた事例発表により、これから体制構築に取り組む自治体に向けた体制構築のポイントや、体制の強化に向けたヒントをお届けします。

開催概要

日程

2026年 1月21日 水 14:30 ~ 16:30（受付：13:45~）

※イベント終了後、会場内にて17:30までネットワーキング交流会を実施いたします。ぜひご参加くださいませ。

形式

対面・オンラインによるハイブリッド開催

場所

Deloitte Tohmatsu Innovation Park Room D
（東京都千代田区丸の内三丁目3番1号 新東京ビル8F）

定員

現地/100名、オンライン/最大500名

参加費

無料

対象

全国の自治体・教育委員会関係者、教職員のみなさま

お申込み

申込締切

2026年1月9日（金）17:00

右記QRコード、もしくはURLからお申し込みください

<https://forms.office.com/e/YNujrRMNNv>

※定員超過の場合、期日より前に締切らせていただく可能性がございます、予めご了承ください。



1部

基調講演

学校と保護者・地域との信頼関係構築の在り方

地域コミュニティの在り方が変化する中、より多様な悩みを抱える保護者に対して、学校・教育委員会はどのように向き合い関係性を構築すればよいのかについて、保護者との信頼関係構築に知見の深い、露口健司氏と共に考えます。



■ 登壇者

愛媛大学大学院 教育学研究科 教授 露口 健司 氏

公立学校組織の保護者関係マネジメント（保護者の学校信頼決定要因等）、教職員のウェルビーイング、ワーク・エンゲイジメント等に専門性を持ち、文部科学省中央教育審議会 初等中等教育分科会「質の高い教師の確保特別部会委員」などを歴任する

2部

事例発表

実際に行政による支援体制を構築し、学校・園と日々課題解決に取り組む自治体の方々に登壇いただき、体制構築までの苦労や工夫、これからの展望等についてディスカッション形式でお話しいたします。基礎自治体・広域自治体に分かれ2つのセッションを行う予定です。

■ 登壇者（50音順）

基礎自治体：滋賀県彦根市、静岡県裾野市、奈良県天理市

広域自治体：茨城県、徳島県

3部 (任意)

ネットワーキング交流会

第1・2部終了後、会場を開放し交流会を実施します。交流会では、今後の体制構築についてディスカッションをいただいたり、登壇者へのご質問をいただいたり、自由に交流をお楽しみください。（現地会場のみの実施となります）

質問の受付について

【受付フォームQRコード】

基調講演、事例発表の各登壇者に対するご質問を受付いたします。
ご所属の自治体がお持ちの課題、抱える悩みなど、幅広く募集いたしますので右記のフォームよりぜひ皆様のお声をお寄せください。

（URL：<https://forms.office.com/e/aDhYv6ffce>）



※送信いただいた内容は、イベント内で紹介させていただく可能性がございます。また、すべてのご質問に回答できない場合がございますこと何卒ご容赦いただけますと幸いです。※ご質問は当日イベント中にも受付いたします（受付方法は当日ご案内いたします）。

主催：文部科学省

共催：有限責任監査法人トーマツ

お問い合わせ

イベント運営事務局

MAIL：edu_support@tohatsu.co.jp

※いただいた問合せは2営業日以内に担当からご返信いたします

本イベントは文部科学省「学校問題解決のための支援体制の構築事業」の一環として実施するものです。

運営事務局は委託先である有限責任監査法人トーマツが務めます